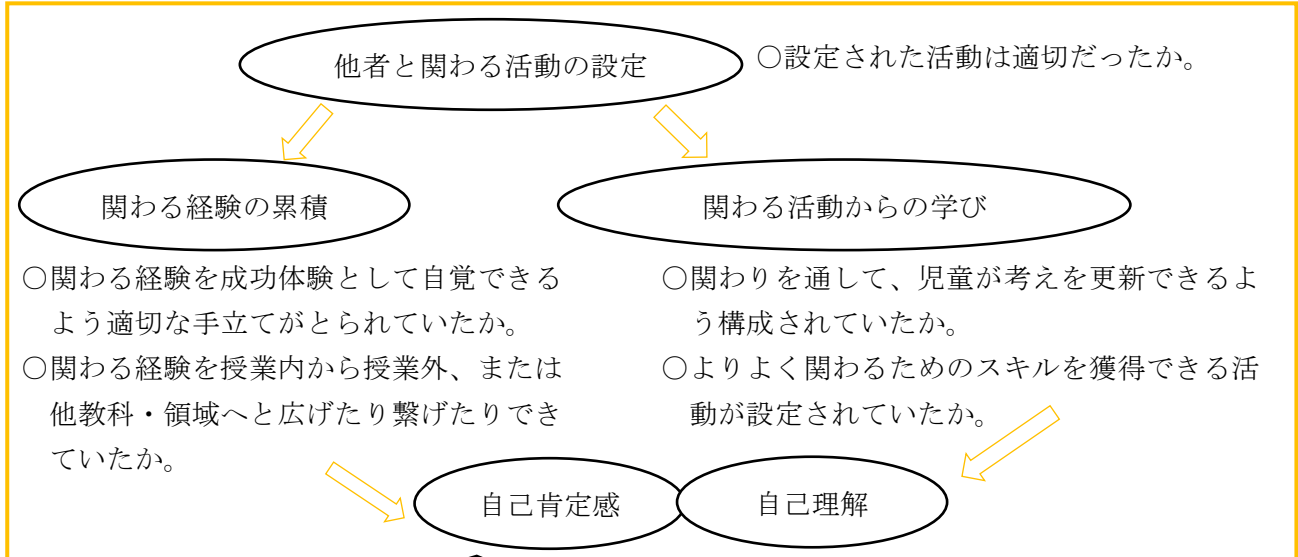


# ⑤特別支援部会「仮説②について」

様々な人と関わったり、関わり方を学んだりすることで、自己理解につながったり自己肯定感が高まったりして、よりよく生活しようとすることができるだろう。

<仮説検証の視点>



自己肯定感が高まると…

- ・主体的に考え、意思決定できる
- ・失敗やリスクを恐れずに挑戦できる
- ・自分や自分に関することについて肯定的に捉えられる

自己理解が深まると…

- ・自分をコントロールできるようになる
- ・よりより選択（自分に合ったものを選ぶ）ができる

<【自己肯定感】【自己理解】の見取り>

学びを長期的視点でデザインしていく

学習

学習

学習

活動直後の状況だけでなく、その後の日常生活における子どもたちの変容をとらえる。

活動後には、活動のねらいの達成状況、子どもたちの意識や行動の変容を評価し、今後の取組に生かす。

交流や共同学習を計画的・組織的に進めるために

年間を通じて計画的に

自信や見通しをもたせる工夫

関係者による必要性や意義の共通理解

休み時間や行事など多様な交流の場や機会

円滑に進むように交流学級担任との連携

作文や作品の交流など間接的な交流も